

週報

感染性胃腸炎(腸管病原菌)検出

センター受託検査分より

検出菌 ウイルス	平成30年												平成31年
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月 ~6日
カンピロバクター	37	39	48	105	75	71	122	98	160	113	109	109	5
病原性大腸菌	66	51	44	98	78	83	111	80	73	69	119	157	8
腸管出血性大腸菌	0	1	1	0	0	1	1	1	1	1	1	0	0
サルモネラ	3	1	1	5	3	20	12	22	13	9	5	13	0
黄色ブドウ球菌 MSSA	14	11	7	24	10	10	16	26	20	17	22	19	2
黄色ブドウ球菌 MRSA	12	11	13	12	12	17	14	11	18	7	18	22	3
腸炎ピリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
その他	0	7	5	3	1	2	4	2	2	1	3	3	0
ロタウイルス	2	11	18	50	10	0	0	0	0	0	0	1	0
アデノウイルス	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
ノロウイルス	13	13	17	4	4	2	3	0	0	0	6	23	5

広島県感染症発生動向週報

平成31年第1週(12月31日~1月6日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	0	発生なし	0							
三類	0	発生なし	0							
四類	0	発生なし	0							
五類全数	5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1					1		
		百日咳	2					2		
		風しん	2					2		

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市 西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町 北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <http://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

広島県感染症情報センター 提供

定点・全数把握疾患週報【広島市】(第1週 12/31～1/6)

広島市感染症対策協議会/広島市感染症情報センター 提供

第1週は、定点医療機関が年末年始休診のため、各疾患の増減の評価及び「定点把握感染症報告状況」(下表)の発生記号の表示を行っていません。

・インフルエンザの報告数が増加しています。例年、冬休みが終わり、学校が始まると急激に患者が増加するため、1～2週のうちにも注意報レベル(定点当たり10.0人)を超えると予測されます。

健康管理に十分注意し、流水・石けんによる手洗いや咳エチケットの励行、適度な湿度(50～60%)の保持など、感染予防対策を徹底しましょう。

・感染性胃腸炎は多い状況が続いています。流水・石けんによる手洗いの励行、便・吐物の適切な処理など感染予防対策を徹底しましょう。

・風しんの報告が2件ありました。2018年第30週(7月23日～7月29日)以降、首都圏を中心に、風しん患者の報告数が増加し、現在も報告が続いていますので、引き続き、注意が必要です。

感染症情報等の詳細は以下のホームページ(広島市感染症情報センター)を参照してください。

<http://www.city.hiroshima.lg.jp/eiken/center.html>

■ 定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注) 過去5年間	発生記号	増減	
												急増減	増減
小児科	インフルエンザ	273	8.03	5.01		小児科	流行性耳下腺炎	4	0.18	0.63		急増減	↑
	咽頭結膜熱	2	0.09	0.34		小児科	RSウイルス感染症	9	0.41	0.54		増減	↗
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	21	0.95	1.11		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	0.03		微増減	↘
	感染性胃腸炎	98	4.45	4.78		眼科	流行性角結膜炎	6	0.75	0.59		横ばい	→
	水痘	5	0.23	0.55		基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-			
	手足口病	-	-	0.17		基幹	無菌性髄膜炎	-	-	0.12			
	伝染性紅斑	2	0.09	0.42		基幹	マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.17			
	突発性発しん	-	-	0.15		基幹	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-			
	ヘルパンギーナ	-	-	0.02		基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	2	0.29	0.15			

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	34
小児科定点数	22
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■ 全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
5	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1	1	女性(90歳代)
5	百日咳	2	2	女性(40歳代)、女性(50歳代)
5	風しん	2	2	女性(10歳代)、男性(40歳代)

■ 新たに判明した病原体検出状況

(検査: 広島市衛生研究所)

診断名	主症状	年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
インフルエンザ	発熱(38.2)	11	女	2018/11/10	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.6) 熱性痙攣	2	女	2018/11/17	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H1N1)2009型
インフルエンザ	発熱(39.3) 上気道炎 気管支炎 鼻炎	1	男	2018/11/26	鼻汁	インフルエンザウイルスA(H3)型
感染性胃腸炎	嘔気 下痢	不明	女	2018/11/28	糞便	サボウイルス
その他の消化器疾患	浮腫	2	男	2018/11/19	咽頭拭い液 尿	サイトメガロウイルス
その他の神経系疾患	発熱(39.0) 嘔吐 項部硬直 頭痛	12	男	2018/11/20	咽頭拭い液	エコーウイルス18型